



新春

今年は春から景気がいい会?

—盛大に新年会が開催されました—

H15年1月11A(土)



琴と尺八の合奏 (江藤さん・大石さん)



今年も笑顔でいきましょう



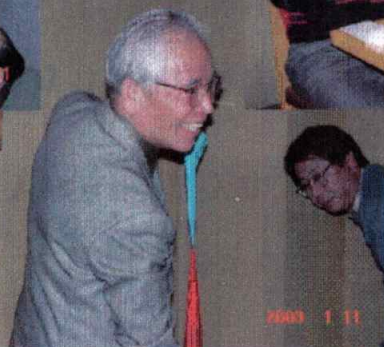
新入ののぞ挨拶を・・・



どうです景気は?



今日もよく呑んだよ



マジックも登場

於 磯久亭



まあまあイッパイ

○ 定例役員会

日時：H15年3月1日(土)13:30～14:30

場所：東村山スポーツセンター研修室

なお、一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加ください。

○ 第26回雑学講座

日時：H15年3月1日(土)15:00～16:30

場所：東村山スポーツセンター研修室

演題：『東ティモール独立見聞録ー日本は現地で何を望まれているか』

講師：野田 数さん(当会会員、H9教育学部卒)

社団法人中央政策研究所(海部俊樹元総理主宰) 研究員

前参議院保守党事務局長

平成13年11月、独立直前の東ティモールに政府与党東ティモール視察団の一員として訪問し、国連関係者や現地指導者、マスコミなどと意見交換した際、日本の押し付け援助と現地の要望とのギャップ、現地の熱気溢れる独立機運等肌で感じたことをお話しして頂きます。

○ 1月度大学関連会合への出席

1月19日(日)東京三多摩稲門連合臨時会長会17:30～三鷹、藤源

出席者：大西

先にお知らせしましたように、東京には支部という組織は無く、連合体という形態で運営されていましたが、平成14年10月1日早稲田大学校友会規則が改定され、東京も「東京23区支部」(仮称)と「東京三多摩支部」とすることになったため支部としての規約が必要となったので、今年の当番稲門会である武蔵野稲門会杉崎会長の要請により立川稲門会鷺海会長と私の3人で原案をつくり臨時会長会により審議しました。

いろいろな意見が出ましたが結果は一部文言の修正程度で賛成を得、4月1日から支部としてスタートすることとなりました。

今までの運営要領との最大の違いは、北部ブロックには従来の小平、東久留米、東村山、清瀬、西東京に加えて中部から福生、あきる野を移して7稲門会とし北、中、南のバランスをとったことです。

なお、平成15年度の当番主幹稲門会は府中および狛江で会長会は8月23日(土)

支部大会は10月25日(土)、会場はいずれも大国魂神社参集殿と決まりました。

○ 新入会員紹介

姫野 圭治(ひめの けいじ)さん (H6人科)

東村山市秋津町3-19-48

TEL 042-396-8964

(ご紹介が遅くなりました。どうぞよろしく。)

○ 会員消息



野村 夏江さん

昨年9月無事長女ご出産です。おめでとう御座います。

鍋島 高明さん

「相場師異聞ー一攫千金に賭けた男たち」という本を出されました。(河出書房新社、2000円)

「住まいと結露—メカニズムと防止法」

講師 高部 素行 氏 (当会会員)

講演に先立ち、新年を寿ぎ江藤さんの琴と大石さんの尺八合奏で、「六段」と「春の海」が演奏され、文化の薫り高い雰囲気の中で講演が開始されました。

演題が、身近なしかも冬の生活の問題だけに、事務局への事前問い合わせも多く、関心の深さが感じられました。

紙面の都合で内容を詳しくご報告出来ませんが、

住宅結露は部屋の壁・床・天井・押入などに出来やすいが、室内・床下・屋根裏の内外温度差が生じて、湿気が流れ冷たい空気に触れて出来る。防止策としては、①部屋を閉めきらないで換気を良くする②外壁と内壁の間に断熱材を使用する③二重サッシにする④ペアガラスにする⑤家具と壁の間を開けて置く等の工夫をして、家全体の気密性を高めるとともに開口部の熱遮断と通風、換気方法の改善を実施することにより、省エネで暖かく豊かな暮らしを目指そうとのお話でした。

大手ゼネコン（清水建設）の元役員の経歴をお持ちで、パソコンとプロジェクターを組み合わせての軽快な講演は、「自分の家に早く帰ってチェックをしなければ」と34名の聴衆に思わせるに十分なものでありました。



俳 壇

どぜう屋になじむ土壁初暦 息白く僧の鐘つく間をはかる 溶接のするどき火花日短 初富士や後光の如き雪煙 雪山の刻一刻の朝化粧 深酒を見抜かれてゐる初電話 降る雪にしんしんと瀬戸の海 降る雪に息のぶつかる志賀の谷 水蹴りて飛び立つ鴨に朝日降る 梅枝をくべて庭師の薬缶酒 盛り場に出没舶来雪女 神札もたるまもありてどんと焼き 仕舞ひたる風出で来しを子は大人 名にひかれ干物の氷下魚求めけり 桌の声の降り来る大きな木 はなやぎの声は雀の大旦 ドアすこし開けて見ている初景色 獅子舞の過ぎたる空や鶴の声 盆梅のつぼみふくらむ日和かな	高杉 風至 井垣 稻雀 八木 竜湖 塩見 之一 大野 恵峰 菊田 一平 柴田 行春
---	---

同好会だより

麻雀同好会



世話人 小野 智 TEL 391-9523
田口 政澄 395-4077

去る1月20日(月)、ご案内を受けておりました国分寺稲門会第9回麻雀大会に、当東村山同好会から松永、柴田、小野の3雀士が参加いたしました。1ゲームは1時間打ち切り制(55分を経過したら、サイコロを振らない)でゲーム数は全部で5ゲームでした。ゲーム終了後、居酒屋風の店で懇親会が催され表彰式がおこなわ

れました。各順位に従って賞金(賞品ではなく)が手渡されましたが、残念ながら3雀士共賞金を手中に収めることは出来ませんでした。風速0にして賞金制度にすれば賭博行為にならないからとのことでした。開催回数が2ヶ月に1度とのことなので、ゲームに手慣れた感じで曲者揃いでした。今後双方の参加交流試合を実現し、なお一層の親睦を深めてゆきたいとのことでした。我々同好会として、国分寺の大会規定を参考にさせていただいて、来る3月の大会より賞金制度を導入してはどうかと思案いたしておりますので皆様のご意向をお聞かせください。なお、本年第一回の大会は下記要領にておこないます。多数の雀士の参加をお待ちしております。

記

日時: 3月16日(日) 12時30分

場所: マーじゃんM

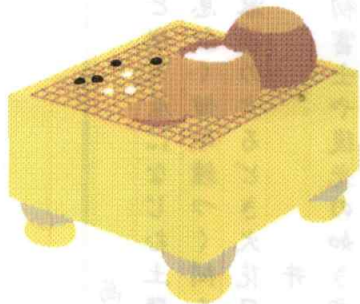
本町4-12 アメニテイパレス B1

TEL: 397-5228

会費: 6千円

囲碁同好会

世話人 野村 保夫 TEL 394-0417
井上 徹 394-8884



2月度 第6回 囲碁大会のご案内

みなさま、いよいよ待ちに待った「大会」のご案内です。寒さを吹き飛ばす「熱戦」で、ぜひ優勝杯を目指しましょう! 日時、会場は次の通りです。多くのご参加をお待ちしております。

★日時: 2月22日(土) 13時~17時(確定です)

★会場: 東村山市民センター 第3会議室

※野村大先輩とともに世話人を務めておりました、私、井上徹は、まことに急な話ですが、この2月1日付けで大阪本社勤務となりました。

2回目の単身赴任ですが、しばらく行ってまいります。

つきましては、戻るまでの間、囲碁同好会をお休みさせていただきます。

大阪勤務は2~3年かと思いますが、精一杯腕を磨いて戻ってくる所存です。

諸先輩のみなさま、たいへんお世話になり、ありがとうございました。

囲碁同好会のますますのご発展を祈念しております。

思い出の地(14)

塩見之一

十四 復員

敗戦の二日後、復員の内示があつた。

直ちに復員する者と隊の解散に協力するため暫く残留する者とが自己の意志によつて分けられる建前であつたが私は残れと言われた。期待されたことは嬉しかったが東京の家がどうなつたかそのことが気掛かりだつた

そしてプロの軍人でなければ判らない組織のカスタムは民間人には難解だつた。

残留の理由は武装解除の建前に従い本隊に返納された武器・武具類で熊本の本隊の収納場所が満杯となり、拠出処分を遅らす必要が生まれたと説明された。まだ使えそうな銃器を隊に持帰った段階で、これは妙なことになつたものとの疑いが生じた。使いものにならないものを拠出して良品を隠匿するのは危険であり、そんなことが通る程は甘くないと兵士の我々にも判断された。

私を含め東京・横浜・大阪・神戸・名古屋など大都市出身者は父母・近親者の安否を気遣つていた。

私自身、浜名湖上空を通過するB29の大群と延々と続く壮大な飛行機雲を毎日眺めていた頃から日本の各都市の運命を予測していた

が、戦争が終わり東京がどうなつたか、肉親は無事かで頭が一杯になつてた。

敗戦の当日は空虚が基地全体を覆つて被爆の爆音と爆弾の破裂音や対空砲火の発射音で聴覚が支配されていたことが嘘のようであつた。また直近で聞く悲鳴やうめき声は耳からではなく皮膚が鼓膜になつたような聞こえ方をしたが、それは確実に途絶えた。

翌十六日からは本土決戦に備えたタイプの新鋭機が我々の頭上を乱舞した。元上官の説明では九州近海の敵艦を威嚇し敵の攻撃を誘うための自殺行為と説明された。

敗戦の翌日の夜から始まつた(謝恩会)は地元入隊の初年兵主催で、呼ばれるのは私的制裁をした限られた範囲の下士官であつた。部下の二等兵に「俺もやられたことがある。」

「と言うと今夜来ますかと言われたが、階級差を嵩に着て無暗に人を殴る見映えのしないデブやチビを「今更殴つたところで仕方が無い」が当時の私の心境だつた。

「ところで俺の番は何時だ。」と聞くと「やれば38口径で穴だらけにされそうだ。」とうまく逃げられた。彼等は拳銃が隊に戻っていることを知つていて油断がならなかつた。

「特に悪かつた奴だけにしておけ。」との忠告が利いたのか、(謝恩会)は三日間で終わ

つた。初年兵の標的にされていた菓子街達^{下士官}が声を掛けに来たが、「拳銃の管理を厳しく頼みます。」とだけ言つておいた。死人が出れば当分私の復員はお預けになるし、死んだほうは戦死ではなく単なる死亡となり刑事事件となる。それにもまして占領軍の進駐を控え味方同士の喧嘩はほどほどにしないといけな^いしつけこまれ不利となる。

先発の「八月二十三日復員」の命令が出たのはその前々日のことで私ひとり准尉に呼ばれ当時の二ヶ月分の生活費・新しい衣服(単衣)・毛布(家が焼けていた時の野宿用か)などを渡された。隊長や准尉に一種の懐かしさ感じ丁寧に挨拶をしたが、大阪まで年下の下士官ひとりと同行してくれとの依頼は断つた。隊長は知らなかつたが、彼の実直そうな容貌の内面に酷薄な性格が隠されていた。下士官として営外居住を許されていた彼は、戦闘中の「死」に対する恐怖からか都会生まれであることを餌に兵舎近くに住む若い娘達と関係を持つていた。生き残つて復員するのはいいとしても、年下の少年兵の下士官が彼女等にひと言も残さずに年上の私を護衛に付けて帰ろうなどとは虫が良すぎる話で許せなかつた。

(この項続く)

多摩湖ふくろう通信 No 11

2002. 11. 3

戸田 志郎 (S43法)



東村山市では、10月から一部のごみ収集料金が取られることになった。寝耳に水とはこのことを言う。どういう経過で決まったのか全く知らなかった。毎月住民税を10万円余給料から控除されているが、自治体からの反対給付としてごみ収集のサービスくらいかなと理解していた者としてはきわめて重大問題であり、ごみ収集をはじめ自治体の福祉と暮らしへの責任放棄が目立ってきているのではないかと思われる。「自治体が自治体でなくなる」自体が進行しているといわざるをえない。

地方への財源保障制度の2つの柱—国庫補助負担金と地方交付税を大幅に切り捨てる動きがある。そもそも地方交付税は(1)自治体間の税収のアンバランスを調整する機能とともに、(2)全国どこでも標準的な行政水準を財政的に保障するという機能を持っている。

地方交付税制度が自治体公共サービスのナショナル・ミニマムを維持するための財源保障ならびに財政調整機能をもたされるようになったのは、1949年のシャープ勧告によって地方財政平衡交付金制度が採用されてからのことである。地域経済の不均等発展と格差拡大にもかかわらず、日本のすべての地域で標準的自治体サービスを保証することが可能となったのは事実である。

だが、地方交付税制度には多くの欠陥がある。一つは交付額を決定するうえで重要な指標となる「基準財政需要額」の計算が基本的に人口をベースに行われているため、地域の環境やアメニティを高めるための財政需要は考慮のうちに入りにくい。もう一つは地方交付税率の決定権は中央政府にあり、交付税率、配分基準、財政需要額の算定等について地方自治体の意向を適切に反映させるシステムになっていない。

地方自治体の事務を考えるに当たって、1960年代の革新自治体の政策と理論に大きな影響を与えた松下圭一の提起したシビル・ミニマム論が参考になる。シビル・ミニマムとは「都市生活基準」のことで、国民所得の増大だけでなく、①社会保障(年金、健康保険、雇用保険、生活保護など)②社会資本(住宅、交通通信、電気ガス、上下水道、廃棄物処理、公園、学校など)③社会保健(公共衛生、食品衛生、公害規制など)が公共的に拡充されなければならないというものである。また、細川護熙氏の提案は、国の事務を限定し、その他の事務は基本的にすべて地方自治体の事務にするというもので注目される。①国の機関が処理すべき事務(A外交・防衛・貨幣・司法・警察・国税などB財源再配分・全国的統計調査など)②国による処理が望ましい事務(A規格・基準の全国的統一<労働基準、生活保護基準、義務教育等の基準、伝染病予防の基準、度量衡・工業規格等の基準>B規模の経済が働く公共財の供給<宇宙開発、大規模治水治水、道路通信基盤整備、国営保険など>)

いかなる社会システムが人々の幸福を約束するかを真剣に模索しなければならない。ゴミ収集の有料化については、ハイそうですかと見過ごせない問題がある。

ヨカ同好会

世話人 大西 幸夫 TEL 395-2817

第7回：1月6日（月）は松飾りの取れぬ中の為か、参加者は風間さん1人で1対1で行いましたが、第8回：1月26日（日）は大西、風間、滝川夫妻、三宅夫妻の6名でした。

いずれも10：00～11：30東村山市スポーツセンター小会議室にて行いました。

2月、3月の予定はH15年2月は2月5日（水）、2月23日（日）

3月は3月3日（月）、3月16日（日）

いずれも10：00～11：30、東村山スポーツセンター小会議室です。

（注）1月のニュースで2月3日（月）とあったのは2月5日（水）に訂正します。

テニス同好会

世話人 当間 昭治 TEL 391-6023



新年第1回の例会は1月19日（日）に実施。当日早朝8時に元気に集合したのは9名（江藤、鈴木（義）夫妻、山下夫妻、市川夫人、田島、小菅、当間）。

お屠蘇気分も抜け、リラックスして2時間を楽しみました。

2月は下記にて実施します。

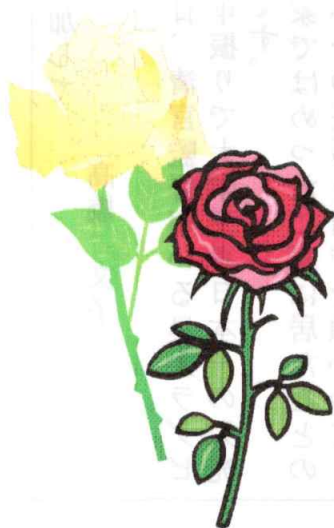
記

日時 2月11日（祝）午後0時～2時

場所 市営久米川コート4番 久米川町2-21

園芸の会

世話人 三宅 良太 TEL 394-5298



新春第一回の園芸の会が近づきました。大勢のご参加をお待ち致します。

日時：平成15年2月9日（日）15時～17時

今回はまず藤沢博恭氏（29政経）から恒例のさぎ草、さくら草の植え付け育て方等についてお話頂き、そして各自育てた球根や芽が有る方は少しでもお持ち頂き交換して頂ければと存じます。

次に長年お庭でバラ作りをされています當摩照夫（45理工）

彰子（48教育）夫妻よりバラの植え付け、育て方等実演を交えてお話し頂きます。参加者に苗木をご準備頂きますので実費

（1,000円程度）ご用意下さい。

郷土史の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298

新春第1回の郷土史の会のお知らせ

今回はニュースでも何度かご紹介した、増上寺の石燈籠についてお話を致します。昨年2月より縁有って開始した調査の1年間の成果として408基の燈籠の所在を確認しました。『増上寺石燈籠現況調査報告書』を作製した機会に、石燈籠調査から読み取った様々な事実をご報告致します。

記

日時：2月15日午前10時～12時

場所：ふるさと歴史館研修室

話し手：伊藤 友己

(文責伊藤)



カラオケ同好会

世話人 山下邦康 TEL 391-2441

大盛況の例会始めとなりました！？



はんどう くにやす
「おまえのおかげだよ」



木谷さんの夫婦デュエット



総勢21名の参加者

稲門会に参加して

高橋 文子

一月十一日、清宮監督率いる早大ラグビー部が十三年振りで大学王者日本一の栄光に輝いた日です。

この日我が家ではめったに家に居たことのない夫が、小一の長男と留守を預かつてくれませんでした。息子は連日の寒さにも関わらず頗る元気で、寒くなるはずのこの日の天気予報はうれしい誤報となり良い事尽くめで初めての稲門会に臨みます。美味しいお酒が飲めそうです。

会場へ向かう途中で少し不安になりました。一ワセダとは言っても、お会いするどなたとも初対面なのね。．．．しかし、その不安は、会場へ足を踏み入れて程なくして解消されました。席に着くと、周囲の方々が暖かく言葉を掛けて下さり、和やかな雰囲気で気後れする事もありませんでした。同じテニスの川合さんがマジックで座を盛り上げて下さり、閉会前に肩を組んで校歌ですっかり学生時代にワープしたような気分でした。とても楽しくて、その後のカラオケまで参加させて頂きました。もう十才若ければもつと飲めたのに。．．．と言いますが、受け身にならずに考えるべき時は考え、楽しむ時は楽しんで私なりに参加していきたく思います。

カラオケ同好会の第1回が1月11日（土）におこなわれ、新年会の余勢を駆って何と総勢21名が大挙して恩多辻のカラオケルーム「終着駅」に集合。

山下世話人の計らいで演歌の新星「ばんどうくにやす」さんが特別参加して更に盛り上がりました。

第2回は 2月1日（土） 19:00～23:00
「終着駅」（恩多辻交差点近く）（395）9616 です。

第3回は 3月1日（土） 19:00～ 同所 で予定

第1回参加者（姓のみ敬称略）

久保・伊藤・大西・高橋（文）・当間・田口・風間・木谷・木谷夫人・杉山・鈴木（国）
 江藤・内藤・八木（勝）・小野・柴田・鈴木（義）・三宅・山下・井垣

ゲスト参加 ばんどうくにやす（歌手）・芽ぐみママ（夫人）・大石（校友連携強化員）
 （井垣 記）

俳句同好会（稲酔会） 世話人 高杉修 391-8447
 柴田元 396-8257

稲門会ニュース第70号でもお知らせした通り、**次回句会を恩多ふれあいセンター**
 （久米川駅南口バス乗り場3番から新秋津行き又は清瀬行きで、青葉町2丁目で下車。

鷹の道を野火止用水方向へ徒歩3分。都営団地内公園隣（399）1551）にて
 行います。 **2月23日（日） 午後1時～午後5時**

兼題は「梅」。兼題を含め5句以内お持ち寄りください。

多数のご参加をお待ちしております。

（柴田 記）

ゴルフ同好会 世話人 井垣和太 TEL 396-3100



○ 第13回会長杯コンペ 4/18（金）に決定

お待たせしました。春のコンペの日程が固まりました。

今回はウィークデープレーとなりますが、まだ先のことで仕事の段取りをつけて、お勤め人さんも是非是非ご参加ください。もちろん奥様、お嬢様、お知り合いの方も大歓迎です。幹事役は前回優勝者の高部素行さんとブービーの井垣さん。

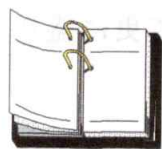
記

開催月日	平成15年4月18日（金）
場所	埼玉ゴルフクラブ（埼玉県 毛呂山町）
スタート	9:24～ 5組
費用	プレー費 15,000円
	参加費 5,000円

詳しくは3月号でご案内します。

※年末の「忘年ゴルフ会」報告は取り止めます。

今月の予定



- 1 日 (土) 役員会
カラオケ同好会
- 5 日 (水) ヨガ同好会
- 11 日 (祝) テニス同好会
- 15 日 (土) 郷土史の会
- 22 日 (土) 囲碁同好会
園芸の会
- 23 日 (日) ヨガ同好会
俳句同好会



編集局だより

編集局：井垣、伊藤、塩見、田口

東村山稲門会：<http://www.din.or.jp/~tigers/>

東村山稲門会ニュース：<http://members.jcom.home.ne.jp/toumonkai>

- 25日に『増上寺石燈籠現況調査報告書』を刷り終えてたと思ったら、ニュースの順番。序でに風邪を引いて何やら重い頭で書いています。増上寺は報告書を出したと思った途端、三宅さんからの要請で報告をすることになりました。さて・・・
- 1月25日というのは東村山の中学で路上生活者の殺人事件が起こったの1周年でした。当の中学の「父親の会」ではこの日富士見小・南台小で土曜講座を展開している伊藤俊次さんに土曜講座のご苦労と、中学生への対応として何が出来るかを話し合いました。曰く、中学生はお父さんコーチ以上の質を求めている。中学の講座として小学校の土曜講座から持ち上げられるのは例えば囲碁とかサッカーとか・・・稲門会の力をお借りできない物でしょうか・・・？
- HP少しさぼって居りましたが今月号は更新の予定です。ご免なさい。
- 次号の原稿締め切りは2月22日(土)とさせていただきます。(伊藤)
- 屠蘇気分を振り切って70号のニュースを完成させたのはついこの間だったのに、もう71号に追われるとは・・・。おまけに72号まで3週間ちょっとしかないなんてたすけてくれーッ。
- 今冬はいつになく厳しい寒さと言われていますが、ラッキーなことに3回有ったゴルフの時は全部上天気。この調子なら2月も予約しようかなーとカレンダーとにらめっこしています。無理しない方がいいのかなー。
- 新年会は例年の2倍近い43名の参加者があり大盛況でした。直前に体調を崩された松永さん、森田さん、土橋さん、町田さん、残念でしたがもうお元気に御活躍と思います。次の花見会が楽しみですよね。
- 新年会参加の皆さん(50音順敬称略)
飯塚輝夫・井垣和太・石川武・伊藤友己・江藤昌明・大西幸夫・岡田一郎・岡原裕泰・小野智・風間和夫・川合幸雄・木谷肇・久世利夫・久保栄二・紅松喬・紅松容子・小菅宏・小林傳・塩見之一・重原眞知子・柴田元・鈴木国夫・鈴木義信・高橋文子・高部素行・田口政澄・當摩彰子・當摩照夫・当間昭治・戸田志郎・内藤慎・長井治・中川俊郎・額田伊久夫・野田数・藤澤博恭・藤巻浩・細萱進・宮輝雄・三宅良太・八木勝利・山下邦康・大石勇人(校友連携強化員) 以上43名
ありがとうございました。